



# 2022年 八戸西ロータリークラブ会報

## 国際ロータリー第2830地区

RI会長 ジェニファー・ジョーンズ (カナダ)  
ガバナー 田中 常浩 (むつ RC)

### 第236回例会

日時：2022年7月14日（木）於：八戸プラザホテル 12:30～ ▶司会 村岡徹弥 SAA  
▶ビジター なし ▶ゲスト なし ▶四つのテスト 藤井美保子



四つのテスト 唱和  
藤井美保子 会員



出席報告  
松田郁子 会員



今なおお弁当

### 会長要件（小林周子 会長）



皆さんこんにちは。今日は、会長研修の時に勉強しました DEI について少しお話したいと思います。ロータリアンとして、日頃身に着けておきたい意識ということで、勉強してきました。D は「Diversity (ダイバーシティ)」簡単に言えば、あらゆる背景・文化・経験・アイデンティティを持った人たちが一同に所属している社会のことです。E は「Equity (エクイティ)」公平性です。全てのロータリアン、参加者を公平に扱いましょうということです。最後 I は「Inclusion (インクルージョン)」開放性とか包括性と訳します。自分は歓迎されているんだ、尊重されているんだ、重んじられているんだ、と誰もが感じられるような会でありたいということです。

私がこの「Inclusion (インクルージョン)」という言葉を初めて耳にしたのは、今から 30 年位前でした。その時、国が障がい者も社会で皆と一緒に暮らせるようにしましょうと打ち出しました。それまでは、障がい者というのは重度であればあるほど施設に閉じ込められていたのです。隔離状態ですね。そういうところに閉じ込められていても、一般社会の人と普通に暮らせる障がい者の方もたくさんいたわけです。私はその時、大丈夫なのかな、この人たちは私たちと同じように暮らせるのかな？と思った記憶があります。そしてその時「インクルーシブ」という、その人が出来ることを見出して、周りの人たちがそれをサポートしてあげれば良いんじゃない？という考え方を勉強しました。そういうことか、と。線を引いた状態で、この人大丈夫？出来るのかな？という考え方しかなかったのですが、そうではなくて、皆が一緒になってその人が出来ることをサポートしてあげれば、どんな人間でも一緒に暮らせるよという考え方なんだな、ということを、その「インクルーシブ」という言葉と同時に勉強させられたということが記憶に残っています。ですので、この「Inclusion (インクルージョン)」という言葉がスッと入ってきたんですね。どんな人間でも社会と一緒に暮らせるということが大事だなということを、日頃から自分に言い聞かせて対応していくれば、いい社会になるのではないかなと思います。

この DEI という言葉も、すごく似通った言葉で、そういうことなんだなということを勉強させていただきました。このロータリークラブの会においても、色々な社会背景を持った人たちの集まりですから、それを尊重し合って和やかな会であればいいなと思っております。本日は以上です。

### 幹事報告（蛇口和憲 幹事代行）



- 例会について：通常例会が合同例会となります 当クラブからは 7 名の出席予定  
7/26 (火) 18:30～ アーバンホールにて開催  
※コロナ感染拡大により延期となりました（開催日については未定）
- 7/23 (土) ロータリー財団セミナーについて：杉本勉ロータリー財団委員長が出席予定
- 食事料金改定について：八戸プラザホテル様から 200 円アップのお知らせ  
理事会で改めてお話させていただきます
- 例会準備について：今後は出席委員会、広報委員会とで手分けをして会場準備をして頂く  
これにより機材調整が可能、オンライン例会にも力を入れていきたい  
と思っております

## 出席報告（松田郁子 会員）

会員総数 36 名 会場出席者数 12 名 オンライン出席者数 3 名 出席率 42%

## ニコニコボックス（三浦健至 会員）



小林 周子 会長：八戸市のコロナの増加傾向は脅威を感じます。まずは手洗い・マスク等の徹底を守るしかないと思います！！

小笠原美千代 会員：本日は最良の日でありますように

蛇口 和憲 会員：コロナ感染者が拡大しています

たとえ自分が感染しても他の人に移さないように気をつけましょう

村岡 徹弥 会員：本日も宜しくお願ひします！

田沢 英治 会員：人生全て「やる気・根気・熱気」でもだんだん冷めてきました

新戸部弓子 会員：本日も宜しくお願ひします。

島浦 理 会員：私の周りでも新型コロナウイルスに何人か感染しています。自己防衛しかないですね。

藤井美保子 会員：コロナが増えてどこへ行くのにも気をつかいます。

三浦 健至 会員：こんなちは。私的には体調（不整脈）も良くなり、これから暑い夏を元気に過ごしたいと思います。より一層のパワーをいただきに参加しました。

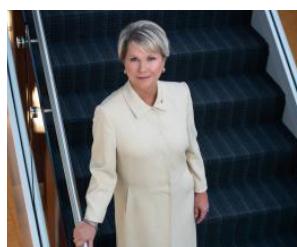
## 会計報告（島浦理 会員）



前年度の決算報告と、次年度の予算について発表をし、承認を頂きました

※詳細は、別途「事業計画及び事業報告書」をご覧ください

## RI会長イニシアチブご参考資料



### 【イニシアチブの概要】

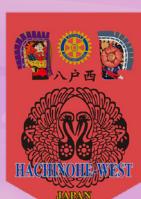
ジェニファー・ジョーンズ RI 会長は、会員が夢を実現するため行動し、クラブの魅力を最大限に味わえる場としてのロータリーを思い描いています。「イマジン ロータリー」のテーマを推し進めるため、「多様性、公平さ、インクルージョン（DEI）へのコミットメントの強化」「みんなを温かく受け入れるクラブづくり」「女児のエンパワメント」「参加者基盤の拡大」の四つの会長イニシアチブに注力します。

### 【多様性、公平さ、インクルージョン（DEI）をイマジンする】

多様性は、ロータリーの長年にわたる中核的価値観の一つであり、最大の強みです。ジョーンズ会長エレクトは、ロータリーの文化が多様性、公平さ、インクルージョン（DEI）を体現していくには、多くのことを行う必要があると理解しています。DEI タスクフォースからのフィードバックと指針の下、ロータリーは DEI へのコミットメントを強化し、ロータリーに関わるすべての人の貢献を大切にし、公平さを助長し、人びとをより温かく迎えるインクルーシブな文化を創り出すことを目指します。

ロータリーが人びとが温かく迎え入れ、よりインクルーシブなコミュニティとなれるよう、各自が以下を行うことをジョーンズ会長は奨励しています。

1. ロータリーにおける DEI についてより良く理解する（定義の理解。互いの違いを尊重し、大切にすることなど）。
  2. DEI がなぜクラブや地域社会にとって大切なのか、また、DEI の原則を取り入れることがいかにクラブの成長と強化につながるかを理解する。
  3. DEI に対する認識を高める（地域社会を反映した、クラブの DEI 委員会の創設を含む）。
  4. クラブや地域社会で DEI に基づいて行動を起こす
- （例：DEI について知識を深め、より効果的に推進できるよう、地域社会におけるさまざまなグループについて知る）。



- |                 |  |
|-----------------|--|
| ・会長 小林 周子       | ・例会場 八戸プラザホテル TEL: 0178-44-3123              |
| ・幹事 畠山 徳陽       | ・例会日 木曜日（月3回） 第1・3 12:30～                    |
| ・副会長 蛇口 和憲      | 第2 18:30～                                    |
| ・事務局 (株)STARS 内 | 〒031-0072 八戸市城下4丁目9-5                        |
|                 | TEL: 0178-51-8642 MAIL: hwrc@stars.aomori.jp |